

平成24年度 第2回 函館市南茅部地域審議会会議録

開催日時	平成24年10月22日 月曜日 午後2時00分～午後3時40分
開催場所	函館市南茅部支所3階 第1会議室
内 容	<p>報告事項  (1) 諸般の報告</p> <p>議 題  (1) 平成25年度地域別事業計画(案)について</p> <p>地域振興全般に関する意見交換</p> <p>その他  (1) 地域審議会委員の任期満了に伴う委嘱までのスケジュールについて</p>
出席委員	<p>秋本委員 熊谷委員 高谷静子委員 藤川委員 山下委員  竹原委員 佐々木委員 佐藤委員 坂本委員 齊藤委員  蛭谷委員 高谷大喜委員 (計12名)</p> <p>・報道関係 北海道新聞社 (計1社)</p> <p>・傍聴者 1名 (計1名)</p>
欠席委員	小川委員 木原委員 工藤委員 (計3名)
事務局の出席者の職氏名	<p>南茅部支所長 佐藤洋一 南茅部教育事務所長 田名部洋  南茅部支所地域振興課長 進藤昭彦 市立函館南茅部病院事務長 加我賢也  同市民福祉課長 小枝精一  同産業建設課長 川井敏彦  同地域振興課主査 西谷光一  同地域振興課主任主事 飯田敏次</p> <p>(計8名)</p>

## 1 開会（午後2時00分）

事務局  
(進藤課長)

ただ今より、平成24年度第2回函館市南茅部地域審議会を開会します。

## 2 会長あいさつ

秋本会長

<挨拶要点>

会長として一言、ご挨拶を申し上げます。

政界が混迷し、特例公債法案をはじめとした山積する案件の成立が遅れ、市の財政運営にも大きく影響するものと心配しております。

近時は、グローバルで大幅な規制緩和の時代を迎えており、国際社会の動向からも、TPPに反対だけでは済まない歴史の分水嶺にあるものと認識しております。医療・保険等のほか、一次産業についても無血開城は無いと言われ、多大な影響が予想されることから、公助・自助あがての難問への対峙と乾坤一擲の対策が必要だと考えられます。特に、北海道漁連や漁業協同組合のリーダーシップと、組合員の意識の昇華・英知の結集、そして、攻めの守りが希求されるものであります。

当審議会にあっても、国の動向と合併建設計画を踏まえた適切な意見具申が求められるもので、一層の研鑽と発信が肝要と考えるところであります。

皆様には時節柄お忙しいところご出席いただき、誠に有難うございます。

本日の審議会は、私たち現行委員では最後の審議会となります。平成25年度地域別事業計画（案）の説明を受け、意見をいただく予定であります。

委員各位の忌憚のないご意見・ご提言を期待して、開会の挨拶といたします。

## 3 支所長あいさつ

佐藤支所長

<挨拶要点>

本日は、何かとご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。急に寒さも身にしみるようになりました。一方、山々につきましては、まだ緑が多く、例年より少し紅葉が遅れているような気がしております。昆布は一段落しておりますが、浜の方は盛漁期を迎えており、定置網そしてスケソ漁がなんとか大漁していただけるよう心より願っているところでございます。

また、縄文文化交流センターが10月1日で満1年を迎え65,000人の入館者がございました。それと連動してホテルひろめ荘、保養センターも非常にお客の入りがよく、観光入り込みによる経済効果もあるものと思っております。

去る9月30日には、東商工会主体で縄文文化交流センターの1周年の記念イベントを開催していただきました。また、10月7日には、定置漁業協会をはじめ、漁協等の協力もいただき、とことん浜味祭りも盛況に終わらせていただきました。この場を借りて、改めてお礼を申し上げます。

	<p>本日の審議会は、平成25年度地域別事業計画（案）を主体にご審議していただき、忌憚のないご意見ご提言をお願いしたいと思っております。</p> <p>また、秋本会長のご挨拶にもありまして、地域審議会の委員は任期が2年でございます。現行委員は今回が最後の審議会となり、この場を借りてお礼を申し上げますとともに、今後ともよろしくお願いたします。</p> <p>以上、申し上げます、開会の挨拶に替えさせていただきます。</p>
<p>4 出席委員の報告</p>	
<p>事務局 (進藤課長)</p>	<p>出席者12人、欠席者3人、地域審議会の設置に関する規程第8条の規定により、会議の成立をご報告いたします。</p>
<p>5 報告事項</p>	
<p>(1) 諸般の報告</p>	
<p>秋本会長</p>	<p>日程5の報告事項に入ります。</p> <p>(1) 諸般の報告について、佐藤支所長から報告ののち、質疑を受けたいと思います。</p>
<p>佐藤支所長</p>	<p>1点目ですが、9月に開会されました第3回市議会定例会で、市議会全会派一致で大間原子力発電所建設の無期限凍結を求める決議がなされました。これに基づきまして、皆さんも新聞テレビ等の報道でご承知のとおり、工藤市長が国、政府、電力会社等に原子力発電所の無期限凍結について要望をしております。</p> <p>また、関係団体につきましても反対決議がなされていく状況であると聞いており、函館市、南茅部地域とも海とともに生きる地域ですので、今後も関心をもっていききたいと思っております。</p> <p>2点目は、NTTのフレッツ光のサービス開始についてであります。</p> <p>現在、NTTでは、岩戸から尾札部トンネル間の光接続関連の準備作業を行っているところであります。</p> <p>フレッツ光によるパソコン通信および光電話サービスの開始時期につきましては、本年12月中旬を予定しております。</p> <p>NTTの代理店が各家庭や事業所を回って事前受付を行っておりますが、申込件数は、300件を超えているそうです。</p> <p>最後に沿岸漁業大学特別講演会の開催についてであります。</p> <p>明日の午後4時から、公民館講堂におきまして特別講演会を開催いたします。講師は、グルメ漫画で有名な「美味しんぼ」原作者の雁屋 哲さんと、創業以来、川汲産の昆布を使用し、大阪で各種コンブ商品を販売している「コンブの土居」のオーナー土居成吉さんをお招きし、「がんばれ漁師」を演題に貴重なお話をさせていただけることになっております。</p> <p>私どもも漁協も、非常に楽しみにしており、一人でも多くの住民の皆様が出席され、お話を聴いていただければと思っております。</p> <p>地域審議会の委員の皆様方におかれましても、いろいろご多用かと思いま</p>

	<p>すが、是非、講演会にいらしていただければと思っております。 以上で諸般の報告を終わります。</p>
秋本会長	<p>報告が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？</p>
高谷大喜委員	<p>フレッツ光が尾札部トンネルから木直方面に開通しなかった理由は何か？</p>
事務局 (進藤課長)	<p>NNT側の問題となります。NNTからは、全地域を一度に実施すると経費的に厳しいため、段階的に実施していくと聞いております。</p>
秋本会長	<p>他にありませんか？</p> <p>(特になし)</p> <p>特に無いようですので、質疑を終了します。</p>
<p>6 議 題</p> <p>(1) 平成25年度地域別事業計画(案)について</p>	
秋本会長	<p>日程6の議題に入ります。 (1) 平成25年度地域別事業計画(案)について、事務局から説明願います。</p>
事務局 (進藤課長)	<p>(資料1のとおり説明)</p>
秋本会長	<p>説明が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？</p>
熊谷委員	<p>過去8年間のなかで、合併建設計画で実施予定のものが一番多い年で15億円くらいあったと記憶しているが、それがほぼ半分くらいになっているように感じる。平成25年度の予算要求額は南茅部地域で総額どのくらいになるのか。概算額で良いので教えてほしい？</p>
事務局 (進藤課長)	<p>予算要求作業はこれから実施していくため、現在は、金額を明確にお答えできない状況であります</p>
熊谷委員	<p>継続事業や過去の予算額の実績等を考慮し推測できると思うので、それらを基に概算で事業の総額がどれくらいになるかを訊いている。</p>
佐藤支所長	<p>あくまでも私の概算ということでご理解いただきたいと思いますが、この事業計画額を集計いたしますと、約8～9億円くらいになると試算しており</p>

	<p>ます。</p> <p>ただし、これから本庁各部局経由で予算要求し、査定等もあることから、今の段階では明確に示すことはできませんので、ご理解いただければと思います。</p>
熊谷委員	<p>あくまでも予算要求前の計画ということで、金額が確定していないことは理解している。ただ過去に15億円くらいあったのが大きく目減りしたように感じる。大きく減った理由は何かあるのか？</p>
佐藤支所長	<p>合併建設計画については、旧町村が総合計画を持っており、それに盛り込まれた事業を柱に計画を策定しております。当時の事業計上額と比べ、今現在の計上は実行予算となりますので、費用対効果も含めて事業費の精査を行っております。毎年、緊急度と地域の要望等を加味しながら実現できるように努力しており、特に来年度につきましては、今年よりも少し目に見える形の事業計画になるものと考えております。</p>
熊谷委員	<p>単純に考えると前年度は縄文文化交流センターオープンに約5億円で差し引きすれば8億くらいは理解するが、消防庁舎の3億が入っており10億くらいは何とかなりそうな気はする。今後、支所長や担当部局で審議会からの要望ということで増やしていってくればありがたいと思う。</p> <p>次の質問だが、過去に2～3回、地域審議会から国宝が出土した著保内野遺跡の公園化等の整備についての要望を出しているが、現在まで方向が一切示されていない。これから地域活性化の形を考える中で、遺跡と縄文文化交流センターと併用した形の中で、生かすべき財産だと思う。それを埋めてしまっただけというのでは、これから世界遺産を目指す候補地としていかなものか、そんな疑問を抱いている。著保内野遺跡の整備計画はどのような形になっているのか？</p>
佐藤支所長	<p>国宝中空土偶が出土した場所につきましては、尾札部町の民地で公有地化されていません。この件につきましては、地域から要望が出ているということで教育委員会の方にも伝えております。</p> <p>ただし、今はまず世界遺産に向けた国の史跡化ということで、垣ノ島遺跡を優先して取り組んでおります。まず、そちらをしっかりと進め、その後、国宝出土地の保存についても前向きに取り組む必要があると思っております。</p>
熊谷委員	<p>世界遺産登録だから現在進めている垣ノ島遺跡を優先するのは仕方ないと思うが、早急に国宝出土地の整備を実施し、垣ノ島に加えて南茅部全体の遺跡群としてアピールしていくことも、世界遺産登録に向けてのプラス要素になると考える。前向きに市の方と協議していただいて、教育委員会の方で責任を持って進めてもらうようお願いしたい。</p>
秋本会長	<p>国宝出土地の整備計画についてだが、答弁保留事項とし、次の審議会において、現段階での方向性等について事務局から情報提供してください。</p>

佐藤支所長	地域審議会の中で、再度、強い要望があったということで関係部局にお伝えしたいと思います。
秋本会長	地域別事業計画については、合併建設計画に関するものが掲載されていると思うが、この他に要求予定があり示せるものがあつたら回答してほしい。
佐藤支所長	<p>合併建設計画に記載されていない事項の取り扱いについてですが、実は、当初の合併建設計画にない項目も、公に付して実現したいという事業につきましてはこの計画案に盛り込んでおります。</p> <p>教育委員会の関係では、耐震診断調査によって、尾札部、白尻中学校の屋内運動場の耐震度が低かったことから、耐震改修に関わる経費について追加し掲載しております。また、世界遺産関係の経費についても、当初無かったものですが追加し掲載しております。</p> <p>次に、秋本会長から本計画に掲載していないものでいえることがあればとのことですが、今後、新年度予算編成の中で細部の事業を詰めて行きますので、今ここで示す材料がございません。</p>
熊谷委員	合併建設計画を審議するのが地域審議会の大きな役割だが、先ほど予算総額の質問については関連としてある訳だから、まるっきり建設計画から外れた意見ではない。関連のないものでも部局で協議して出せるものは出していくということなので、いろいろ出していただいて、全体的なものも含めて、地域として市に要望出来ればと思う。
佐々木委員	高齢者温泉入浴優待事業について、新聞報道で事業仕分けの対象となっていることを知り、今後無くなってしまうと感じていた。以前は地元で銭湯があり利用されていたが、今は遠くの温泉しかない。対象が高齢者の方ということで、車を運転し温泉まで行ける高齢者が減っていると思う。一方ではどんどん高齢者が増えている現実のなかで、優待券はどのくらいの利用実績があるのか？
市民福祉課 (小枝課長)	<p>先般、この事業が外部事業仕分けの対象となりました。結果としては、委員から規模を縮小するなどの意見が出ましたが、廃止するとの意見は出ませんでしたので、形は変えても続けていくべきものと考えております。その理由としては、旧市内には無料で入浴できる老人福祉センターがありますが、南茅部地域にはありません。旧市内の施設を利用することはできますが、湯川の施設を利用する場合、往復で1,800円位のバス賃が掛かるということでご理解いただきました。利用率ですが、昨年度の実績で17,639枚、率にいたしますと72.59%の方が利用されております。南茅部地域の場合は、ひろめ荘、川汲温泉、明林荘の3つの施設で7割以上の方が利用されておりますので、効果のある事業と評価しております。</p>
佐々木委員	高齢者温泉入浴優待事業については、7割以上の方に利用されていることは本当にうれしいことですし、今後も継続して行っていただきたい。

市民福祉課 (小枝課長)	次に、今年の4月から、南茅部地域でも高齢者交通料金助成が実施されたが利用率はどのくらいあるのか？  南茅部の対象者ですが、正確な数字ではありませんが70歳以上の方が約1,900人おります。今現在500人弱の方が利用されており、利用率としては他の地域と比べ高い方です。みなさんに利用していただいておりますが、足りないという方もおりますが、大体満足していただいていると考えております。
佐々木委員	この助成制度は来年度も継続されるのか？
市民福祉課 (小枝課長)	この制度は今後も継続される見込みです。旧市内では、以前、半額または無料の利用者証が発行されておりましたが、東部4地域は対象となっていませんでした。その制度が廃止され、市内全域同一の制度として、年間12枚を上限に1,000円のプリペイドカードが500円で買えるという内容の本助成制度が整備されましたので、この制度がなくなる限り、継続となります。
佐藤支所長	高齢者温泉入浴優待事業については、今後も続けるべきというご要望だと思います。 今年1,945人の65歳以上の対象者がおり、そのうち約73%の方が利用されております。高齢者の利用率の高い事業であると自負しております。 私も休日に町内の温泉施設を利用しておりますが、その際、利用客からの声も伺っております。年間12枚の優待券ですから平均すれば月1回程度のもではありますが、非常に喜んでいただいております。 公衆衛生の向上だけではなく、ひとり暮らしの世帯も多くなっており、外に出かけ心身のリフレッシュをしていただくという効果もありますので、事業仕分け等いろいろございますが、なんとか地域の利用状況も訴えながら、来年度以降も継続できるよう努力して参りたいと考えております。
藤川委員	漁港の整備について、市と漁協が主体となって進めているものと思うが、地域住民としても望路地区の漁港が今後いつどのように整備されていくのか教えてほしい。 また、市有林の整備とは、どういうことをしているのか？
産業建設課 (川井課長)	望路漁港については大舟漁港の副港という位置づけになりますが、ようやく去年から着工することになりました。今年度で本港の大舟漁港が完成する見込みのため、大半の予算が本港分となっておりますが、望路漁港についても、他の予算をかき集め、今年度、少しでも事業を継続できる見込みとなっております。 潤沢に予算がつけば5年程で終了する計画でありましたが、震災の関係で国も予算が足りない状況となり、5年という計画も多少延びることも考えら

	<p>れます。しかし、北海道の方も誠心誠意努力しており、今年も少ないながら着工出来る見込みとなっております。明確な期間はお示しできませんが、現在このような状況となっております。</p> <p>市有林の整備につきましては、本庁の林務課で対応しております。この内容につきましては、伐期がきたものを一度切り、また植樹し直すといったもので、去年の場合は、クリーンセンター付近の山林で一部間伐したうえ、伐期を向かえた木を伐り、また新しい苗木を植樹しております。南茅部地域については小規模な事業となっております。</p> <p>来年度の予算につきましては本庁で現在作業中であり、数量的には把握しておりませんが、同規模で継続できると考えております。</p>
高谷静子委員	<p>医療機器整備事業とあるが、病院に何か新しい医療機器が導入される予定があるのか？</p>
南茅部病院 (加我事務長)	<p>医療機器整備事業につきましては、毎年度、必要に応じて医療機器等を整備する計画があり、23年度は概ねリースで導入したものの支払いとなっております。24年度につきましては、従前のリース料金のほか、内視鏡胃カメラ購入の予算が含まれております。</p>
坂本委員	<p>国道278号バイパス臼尻～豊崎間の路面段差について、応急修理後そのままの状態になっている。今後の補修予定はどのようにになっているのか？</p>
佐藤支所長	<p>国道278号バイパスの実施主体は函館開発建設部となっております。北海道および国で行う事業につきましては、皆さんご承知のとおり、毎年3月の地域審議会でもどもが分かり得る範囲で北海道および国の予定事業としてお示ししております。</p> <p>段差解消の件につきましては、11月下旬に改修工事を発注することとすることで、路面の段差解消工事を2工区に分けて行うということです。工期は冬場になりますが、1月下旬頃までかかると伺っております。</p>
坂本委員	<p>冬場の工事でまた段差が生じるのではないかと？</p>
佐藤支所長	<p>函館開発建設部によりますと、5月の連休明けに精密調査を実施した結果、地下水が走っているため、冬場に凍り、春になって氷が溶けてくると空洞ができて段差が発生するというものであります。11月下旬から段差解消工事を行うということですので、もう少しお待ちいただければと思います。</p>
秋本会長	<p>他にありませんか？</p> <p>(特になし)</p> <p>特に無いようですので、質疑を終了します。</p>

## 7 地域振興全般に関する意見交換

秋本会長

日程7の地域振興全般に関する意見交換を行います。

どなたか、ご意見等ありませんか？

佐藤委員

地域審議会の会場が変更になった理由について、多目的ホールにアスベストが使用されている可能性があり調査中のためとのことだが、アスベストは以前に問題となり各施設を調査していると思う。何故今ごろ疑いが出てきたのか。その経過を教えてください。

また、支所庁舎で疑いがあるということは、地域内の学校や他の公共施設でも使用されている可能性はないのか？

事務局

(進藤課長)

アスベストの調査については、平成17年に全市的に行っており、基本的に目視で、必要に応じてサンプル調査をして確認をしておりました。

今年8月に学校の耐震診断を行ったところ、日新小学校でアスベストが発見されました。これを機として全市的に再調査することになり、約2,000棟ある全公共施設を調査しているところです。

今回の調査は、図面等の資料を全て確認しながら実施しており、支所多目的ホールについても、現在、調査をしている段階であります。

佐藤支所長

ただ今の質問についてですが、9月の市議会定例会でも質問が出されております。事務局から回答がありましたとおり、平成17年にアスベストの調査を行い、支障なしとして現在に至っております。

発端は日新小学校でしたが、それ以降、尾札部中学校の技術室でもアスベスト使用が判明したため、現在は入口を施錠し、使用箇所をシートで囲う等の応急処置をしております。今後早急に抜本対策を施し、支障ないようにしてまいりたいと考えております。その後、全公共施設を対象に、再度精密調査を実施することとなり、その中で、支所庁舎の多目的ホールにつきましてもアスベストの使用が判明いたしましたので、急きよ、地域審議会の会場を変更させていただいております。

教育事務所

(田名部所長)

アスベストの件につきましては、尾札部中学校の技術室天井で使用されていることが新聞報道されておりましたが、教育委員会で成分分析調査を実施した結果、取り除く必要がないとのことで、今年度の冬休み中に、天井のすき間をふさぐ工事を実施する予定となっております。

南茅部病院

(加我事務長)

今現在、アスベスト災害の対象となっているのは、吹付工法で使用されているもので、ボード状の建材に含まれているものは、通常、アスベストが飛散する恐れがないため対象外となっております。

病院局では、今週、南茅部病院で使用されているボード状の建材についてサンプル調査を実施する予定です。本来、調査の必要はないものですが、あくまでも、念のため、アスベストが含まれているかどうか正確に分析調査

	<p>しておくというものであり、対外的にも特段発表等は予定しておりませんので、誤解のないようお願いいたします。</p>
藤川委員	<p>尾札部中学校でアスベストが使用されていたとのことだが、南茅部地域の学校は廃校も含めて全て調べているのか？</p>
教育事務所 (田名部所長)	<p>学校施設については教育委員会の方で全て調査済みとなっており、使用が確認された尾札部中学校についても冬休み中に改修工事を実施する予定となっております。その他の社会教育施設等も調査済みであり、全施設問題ないと回答をいただいております。</p>
熊谷委員	<p>前回の地域審議会でバックアップをお願いしていた縄文文化交流センター1周年記念事業についてだが、本来なら教育委員会なり行政が責任を持ってイベントを実施するものと思っていたが、そうではなく、商工会が中心となって各種団体の協力を得て1周年のイベントを実施した。その結果、前回お願いしたバックアップ体制はどのようなものであったのか。また、当日の来場者数を把握していれば教えてほしい。</p>
佐藤支所長	<p>縄文文化交流センターの1周年記念事業については、どこが主体ということではなく、地域の大事な財産、大事な施設という観点から地域を挙げて1周年をお祝いするというイベントであったと評価しております。</p> <p>2点目の当日の入込数については正確には把握しておりませんが、周知期間も短く、悪天候も重なり、600人から1000人の間くらいであったと聞いております。</p>
熊谷委員	<p>民間で各種団体がこぞって、地域振興のためにあるものを活用してイベントを実施するという意気込みがあるなかで、市が何のバックアップもしていないとは言わない。前回の審議会でも支所長からもバックアップの約束をもらっており、バックアップはしてもらったものと考えているが、せっかく地域で各種団体から発信し、地域一体となってイベントを実施するという時に、行政は、ただ手をこまねいていて、目に見えたバックアップがないように感じられるのはどういうことなのかとの思いがある。民間から発信してもいいと思うが、行政の責任として、率先して、こういうものはどうでしょうかと発信することも重要なことである。しかしながら、前回の審議会でも、教育委員会として記念イベントを計画していないとのことで、それではいけないと思う。民間で分からない点は行政の方から発信して民間に協力を仰ぐ、そして、行政と地域の人たちが一体となって実施するのが地域振興であり地域のイベントだと思う。それが今回は少し不足していたような気がする。</p> <p>今後何かイベント等を実施する際は、バックアップ体制をきちっとしてほしい。</p>
産業建設課 (川井課長)	<p>1周年記念事業についてですが、実際は行政の方も関わっておりました。商工会から1周年に合わせてイベントを実施したいとの相談があり、縄文文</p>

熊谷委員	<p>化創生の会などの団体も交えて協議しております。市からは100万円を助成し、地域の商工振興の観点から、商工会が主体となってこのイベントを計画していただきました。</p> <p>支所も商工観光の振興ということで役割分担を決め、機材の提供、人的支援ということで、準備から後片付けまで支所職員が商工会と一体で実施したものです。結果として行政主導とはなりませんでしたが、商工会と行政が連携し、天候にも左右はされましたが、600人位の来場者があり、個人的には、初回のイベントとしては成功した事業であったと評価しております。</p> <p>支所職員や各種団体がいろいろなイベントに関係し一生懸命努力しているのは理解しているが、一般の住民は行政の人間の影さえ全く見えないと思っている。みんなが一生懸命やっているのに行政は何をやっているのかと厳しい意見を言っている住民もいるので、私の発言を踏まえて、地域の活性化のため、肩を張って出てくるということではなくても、行政がもう少し影くらい見せるという姿勢が望ましいと考える。職員の皆さんが苦勞しているのは理解しており、敬意を表したいと思っているが、函館市になったら何もないと世間一般に言われることの無いよう、少ない職員ではあるが、民間の協力も得ながら、地域活性化のためにみんなで頑張っていきたいと思います。</p>
佐藤支所長	<p>ただ今のご指摘、肝に銘じまして、今後、支所といたしましても精一杯頑張りたいと思います。</p>
佐々木委員	<p>郷土芸能について、この地域でどのようなものがあるか具体的に教えてほしい。</p> <p>また、郷土芸能保存団体から、後継者が不足しとても悩んでいるという話を直接聞いており、実際に後継者の確保に苦勞しているのは保存会の方たちである。行政は、このような状況を認識しているのか。今後どのように地域で保存伝承したいと考えているのか？</p>
教育事務所 (田名部所長)	<p>1点目の質問については、市から補助金を支出している団体が4団体あります。木直大正神楽、安浦駒踊り、南茅部大漁太鼓、大船南部神楽の4団体です。補助金は支出していませんが、そのほかに豊崎手踊りがあり、計5団体で連絡協議会を組織しております。</p> <p>2点目の質問についてですが、後継者対策というものが一番の課題だろうと思っております。各団体において、小・中学生を対象に後継者の育成を行っておりますが、学校を卒業してしまうと、ほとんど地元に残らず、後継者がいなくなってしまうというのが実情となっております。</p> <p>2年ほど前になりますが、安浦駒踊り保存会から、地域内にこだわらず、旧函館市内も含めて広く希望者を募集したいと相談があり、市政はこだてに募集記事を掲載するなどの取り組みも実施しております。</p> <p>こうすればうまくいくといった抜本的な対策は見つかっておりませんが、各団体がいろいろな方策で努力をしているということですので、教育委員会としても、各団体と相談しながら、対応していきたいと考えております。</p>

佐々木委員	<p>後継者が不足し、保存会で活動している人たちだけが苦勞している。地域で長い間受け継がれている特色あるものであり、保存会だけの問題とせず、行政と地域が協力して守っていきけるような対策をお願いしたい。</p>
教育事務所 (田名部所長)	<p>具体的に効果的な対策が見つかっていないというのが実情ですが、各保存会の皆さんと話をしながら一緒に考えていきたいと思ひます。 また、補助金を支出することで、各団体の継続的な活動を手助けしていきたいと考えております。</p>
熊谷委員	<p>市政はこだてについて、合併した当時は1支所1ページだったが、今は4支所で2ページとなっている。合併した東部4地域を函館市はどのように考えているんだろうと疑問があったが、それがまた縮小された。この経緯について説明してほしい。</p>
事務局 (進藤課長)	<p>市政はこだて全ページを対象に見直しが行われ、全体でページ数が削減されることになり、支所ページもその対象となったものです。 南茅部の行事やイベント等はそれほど減っておりませんが、他の3支所では、そういった行事等が少なくなっている状況となっております。 例えば、地域審議会の記事であれば4支所で1つの記事にまとめられることや、行事も少なくなってきたこと、また、縄文文化交流センターの入館者5万人達成の記事など全市的な大きなイベントについては、市政はこだて裏表紙のフォトギャラリーに移行できるということもあり、支所ページが2ページになっても、地域の情報発信が継続可能であろうということで現在の形になったものです。</p>
熊谷委員	<p>住民の皆さんの意見を聞いてみると、南茅部だけ、椴法華だけ大きくするというのではなくて、紙面を見ると載せなくてもいい記事や、そこまで知らせなくてもいいのではという記事もある。そのあたりを精査してページ数を削減したのか疑問に感じるところがある。市民に知らせたいことを全部掲載したいという気持ちも分かるが、載せなくても良いのではというものも結構ある。 今後はそのあたりを精査して、詰めるところは詰めて、絶対載せなければならぬものは載せていってもらわないと、合併後8年が経過し、旧4町村の方が削減されれば不平不満が出てくるということもある。8年経っても函館市になりきれない状態がある。旧4町村の事業を大々的に出せということではない。先ほど答弁のあったとおり、4支所間で紙面の作成を工夫することもあるだろうが、2ページに縮小されたことは、なんとなく納得しきれない情けないという思いがある。 記事を詰めて、写真を大きく載せるくらいじゃないと地域をアピールできない。表紙も裏も旧函館市で写真も大きい。旧町村は2ページに減らされて写真は小さくて何が写っているのかよく分からない。1ページ作成するとなれば担当者の苦勞も相当だろうが、本庁の責任者ももっと目配りしてほしいと思ひます。</p>

秋本会長	<p>広報紙の編集内容が低レベルだと評価しており、興味が持てない。広報紙は、行政の展開に必要な市長の考えや、政策の展開に重要な市民の意識を共有するための懸け橋となる有力な手段であるが、その作用が希薄で、回覧板の延長のようなものを感じる。収入を得るための広告スペースがあるとチラシ的感覚を覚える。確かに広告収入があるとは思いますが民間のセールスチラシとは違うと思う。そのためには全面公用にしてほしい。広報紙の審査会のようなものがあると思うが、同規模の市の広報はどういうもので、函館市の広報紙はどの位置にあるか、模範的な市のものと比べてみることも必要ではないのか。</p> <p>確かに法律的に公表しなければならぬもの、定例的なもの、数字が羅列されるものなど、俗にいう面白くない記事を掲載せざる得ない側面もあるが、愛着心が持てず、グレードが低いと感じている。また、支所ページが2ページになったが、むしろそのスペース自体をなくし、前述の思想を生かせるもっと別の使い方があるのではないかと考える。</p> <p>最後に提言ですが、広報の検討審議会的なものを立ち上げ、広く世論を聞いてどういう広報であるべきか考えてほしい。</p> <p>一緒に作るまちづくりの広報、待ちわびる広報となってほしい。</p>
佐藤支所長	<p>市政はこだてがチラシ的になっている。もう少し内容を精査した方がよいと貴重なご意見ご要望があったということで伝えていきたいと思います。</p>
坂本委員	<p>全体的に、不満をぶつけているような意見ばかりに聞こえる。せっかく縄文文化交流センターができたのだから、もっと建設的に、そこを利用して発展させていけるような意見交換ができればいいが、行政に対する要求や苦情等が多く、そういう意見が本来の地域活性化なるのだろうか強く感じた。もう少し、みんなで知恵を出し合って、縄文文化交流センターを地域活性化に生かせるような発想にしていきたいと思う。</p> <p>それに関連して一つ質問だが、縄文文化交流センターで、夜間、車が止まったままになっており、道の駅の中にテントを張ってキャンプをしている人がいると聞いた。せっかくできた念願の施設がそのように使われ、変な噂にでもなれば大変なので、町内会やみんなが協力して防止できるようにできればと思うが。</p>
佐藤支所長	<p>ただ今の質問の件については、8月のお盆過ぎから9月にかけて、道の駅前のベンチ付近にテントを張って寝泊りする事例があったようです。駐車場は公のものであり、個人が独占して使用することは問題があることから、施設管理者の方に管理体制を強化し夜間の見回りをしていただくよう依頼しております。</p>
坂本委員	<p>次の質問だが、公園等でキャンプをしている人を見かけるが、最近、熊や鹿の出没が多く、きちんと食事の後片づけをして帰っているのか気になっている。何か被害があるといけないので、支所としても配慮してほしい。</p>
佐藤支所長	<p>ただ今のご指摘については、施設管理者にもお伝えし、対応するようにし</p>

秋本会長	<p>たいと思います。</p> <p>他にありませんか？</p> <p>(特になし)</p> <p>特に無いようですので、質疑を終了します。</p>
<p>8 その他</p> <p>(1) 地域審議会委員の任期満了に伴う委嘱までのスケジュールについて</p> <p>秋本会長   日程8のその他についてですが、事務局から説明願います。</p> <p>事務局 (進藤課長)   (資料2のとおり説明)</p> <p>秋本会長   説明が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？</p> <p>(特になし)</p> <p>特に無いようですので、質疑を終了します。</p> <p>皆様には、長時間にわたり、熱心にご審議いただき、ありがとうございます。 以上で、本日予定の日程が全て終了しました。最後の審議会でありますので、一言ご挨拶を申し上げたいと存じます。 平成16年12月1日の合併から早、8年を迎えようとしてございます。委員の皆さまからのご推挙により、高田前副会長、熊谷副会長とともに、この南茅部地域審議会の正副会長の重責を担わせていただきました。 この間、委員各位並びに職員の皆さんの特段のご配慮と温かいご支援により、無事、職責を全うすることができました。心から感謝申し上げるところでございます。 結びに、南茅部地域の更なる振興・発展と関係各位のご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。 本日は、これをもちまして閉会いたします。</p> <p>(午後3時40分、閉会)</p>	